

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和04年03月	
参加者	議題
利用者 2名 学職経験者 1名 市職員 1名 地域包括支援センター 1名 事業所 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 ・個別訓練の取り組みについて ・個別訓練事例紹介 ・質疑応答
会 議 録	
<p>※コロナウイルス感染防止の為開催を中止させていただきました。</p> <p>各参加者予定者様には書面にて報告させて頂きご意見ご感想を頂きました。</p> <p>運営状況報告</p> <p>曜日別利用状況</p> <p>利用介護度別人数</p> <p>1. 事業所の特色</p> <p>2. 個別機能の実施状況</p> <p style="padding-left: 20px;">改善事例の紹介</p> <p style="padding-left: 40px;">① 片麻痺の方の床からの立ち上がり訓練</p> <p style="padding-left: 40px;">② 腕骨折により指に痺れがありリハビリがてら趣味再開</p> <p>3. 個別訓練の様子紹介</p> <p>4. 質疑応答、感想など</p> <p>利用者k様：</p> <p>入院している時のリハビリと同じことや色んな運動が出来てうれしい。家にいるときも動くようになった。 下肢筋力が少しずつ付いたのがわかるので継続してしっかり運動していきたい。デイサービスの利用者の方が頑張ってるのを継続しているので私も何かやろうと思っている。</p> <p>事業所：</p>	

時間内に出来る事を頑張っています。負荷を少しずつ上げ無理のないように行っています。

目標が達成できるように支援していきます。趣味が再開できるようになるように支援していきます。

利用者 Y 様：

色々なデイサービスやデイケアに通っているが他のところは「〇〇やりたい」「〇〇できるようにしたい」と言っても「危ない」と言われることが多い。笑笑音 石田はいろいろ考えてくれ出来るように訓練してくれるので嬉しい。

学識経験者：

自立を目的としたリハビリ介護において、筋力やバランスなど身体機能向上のための運動が重要なことは当然のことですが、病気の種類や年齢などの要因から身体機能に着目した運動のみでは自立に至らない場合もあります。今回の症例のような「自宅での状況を考慮した ADL 動作練習」で利用者個々に適した動作方法の工夫や反復練習、動作補助具の使用は自立を促進する上でとても重要なことと思います。今後、個々の実情に応じたリハビリを大切に行っていただければ嬉しく思います。

事業所：

機能訓練指導員と一緒に個々の実情に応じたリハビリを行っていききたいと思います。

地域包括センター様：

自宅で実際に困っている動作の訓練が行えるのがとても良いと思いました。自宅に近い環境で取り組めることも良いことだと思います。その方に合ったリハビリを工夫して用意して下さるので有難いです。

事業所：

今後も利用者様に合ったリハビリを工夫していきます。

市職員様

新型コロナウイルス感染症について

コロナ禍により、利用者様の利用状況に変化はありましたか。

また感染拡大防止のため、事業所で取り組んでいることがあれば教えてください。

事業所：

2年前は家族の方が心配され 5～6 人休まれることはありましたが現在は、体調が少しでも悪いと休まれる方は数人おられます。コロナワクチンもほとんどの方が 3 回摂取されております。

感染予防としては自宅でも熱を計ってもらい送迎時に熱や体調が悪くなければマスクを必ずつけて来所していただき、来所されてから脇で熱を計り 37.5 度以下の方は利用して頂いております。共有のものを触る時や水分補給時などの前は必ず手洗い消毒をして頂いております。テーブルには飛沫防止パーテーションを置き、おやつやお茶など時間をずらして飲食をして頂いております。部屋の換気はドアや窓を定期的に開け換気しております。運動器具や椅子やテーブルも定期的に消毒をしています。スタッフは近距離の対応はマスク、フェイスシールド、使い捨て手袋などをして対応しております。

皆様が健康で安心して運動できるように一緒に頑張っていきます。

今回の運営推進会議は令和 4 年 5 月を予定しております。